

赤羽根中学校 1年生のみんなへ！

本来ならば4月から、みんなと学校生活をスタートしているはずだったのに、この状況…泣。しかし！先生たちは学校再開に向けて、みんなと楽しく学校生活をスタートできるよう、いろんな準備をしています！

でも、学校の主役は生徒ひとりひとり…そう、**主役はあなたです！**主役であるあなたが、**主体性をもって**、どんな意識で学校生活に取り組めば**自分も周りの仲間も楽しい時間を過ごせるのか…？**そんなことをこの休校期間中に考えてほしいと思います。

「そんなこと急に言われても…」と思った人もいるかもしれませんが。でも安心してください。同じように中学校1年生を経験した先生から「**中学校1年生のころに、学校生活を楽しむために自分が頑張ったこと。**」をインタビューしました！（拍手希望）第一弾は大八木先生、西山先生、秋山先生そして神崎先生のお話を紹介します！

先生たちの思い出を参考に、主役として中学校生活を楽しむヒントにしてください！それではまた再開できる日を楽しみにしています！

1年学年主任 神崎朋見

大八木先生

もともときれい好きで、小さいころから部屋の掃除が大好きでした。中学校1年生になり掃除が始まると、校内掃除ランキングのようなものあり、きれい好きな僕は、こんな楽しい企画はない!と思い、仲間に声をかけ、校内1位を目指しました。しかし、最初の結果は微妙な順位。どうやったら校内1位をとれるのか?を、クラスの仲間と相談し、色々な方法を試してみました。最初はめんどくさそうな友達もいましたが、僕が一つのことを頑張る姿を見て、少しずつ仲間が増えていき、校内1位は取れなかったものの、学年で1位をとることができました。仲間と協力して一つの目標を達成する、そんな経験をみんなにもしてもらいたいです!

西山先生

中学校のころ、とてもシャイで友達を作るのが苦手でした。そんな時、担任の先生から「人のいいところを見つけよう。」というお話があり、クラスの仲間のいいところを見つけ、「1日50回ありがとう」を言うことを心がけました。いきなり50回は大変でしたが、友達に感謝を伝えることで、少しずつ仲間が増えていきました。途中から「ありがとう手帳」をつくり、中学校1年生の時に10000回を達成しました!「ありがとう」という言葉で友達が笑顔を見せてくれたことは、今でもとてもいい思い出です。

秋山先生

1日の始まりである朝を爽やかに迎えるために、毎朝元気な挨拶をかかさなかったです。結果、最初から友達がたくさんできました。そして、挨拶だけではなく、もっと学校をよくしたい、元気にしたい…という思いから、友達の支えもあり生徒会長になることができました!一つのことを頑張った結果、もっと頑張りたいことが出てきた経験は自分にとっての宝物です。そんな学校生活をみんなにも送ってもらいたいと思います!

神崎先生

中学校1年生のころ、ちょっとお調子者だった私は、授業中にはしゃぎすぎて、先生に叱られてしまう…という大事件を起こしてしまいました。私だけが叱られるだけならまだしも、周りのみんなにも迷惑をかけてしまい、とても落ち込みました。もうこんな思いを自分も、そしてまわりのみんなにもさせてはいけない…と思った私は、「授業に全力で取り組み、いい雰囲気を作る。」ということを決めました。その中で一番意識したことは、先生から質問があれば、わからなくても絶対に自分の考えを言う…ということ。毎時間それを続けていると、ある日先生から「君のおかげで、他の生徒も失敗をおそれないで発言するようになったね。」とってもらえました。たまに発言が多すぎるクラスではあったのですが…、どの授業も楽しく受けることができたことを覚えています。失敗から気づいたことを頑張って、褒めてもらったことは今にも生きています。